

埼玉県地球温暖化防止活動推進センター センターだより



No.8

発行責任者 ● NPO法人環境ネットワーク埼玉



目次

地域行政と温暖化対策

<環境ネットワーク埼玉からのお知らせ>

1. 埼玉県初の市民共同発電所を設置
2. 太陽光発電補助金受付業務について
3. 「いきものみつけ」自然観察会を開催
4. ストップ温暖化SAITAMAフェア&彩の国こどもエコクラブフェスティバルを開催

<埼玉県地球温暖化防止活動推進センターからのお知らせ>

1. ストップ温暖化「一村一品」大作戦
2. 推進員現地指導型研修に参加して

<地域・会員活動報告>

1. 地球温暖化防止地域セミナーin所沢
2. 団体正会員紹介

<事務局からのお知らせ>

地域行政と温暖化対策

芝浦工業大学環境システム学科 教授 中口 毅博

皆さんは日本の市町村において、温暖化防止対策がどれくらい取り組まれているとお思いだろうか。兼務する環境自治体会議環境政策研究所で、2008年に全市町村にアンケートを送って51の対策の実施状況調べたところ（回答1,111市町村）、平均4.5個しか実施されていなかった。埼玉県内では46の市町村から回答があり、平均は5.6個で全国よりはまだまだしであるが、ゼロという市町村も6あった。では県内ではどんな対策が取り組まれているかという、「公共施設の省エネとその実績の公表」と「公共施設における雨水貯留や雑用水の循環利用」が24市町村で最も多く、「温暖化防止や省エネルギー学習の子ども向けプログラム」が22市町村、「市街地の透水機能の保全など、雨水浸透対策」が20市町村などとなっている。公共施設における省エネ・節水は、光熱水費の節約のため、温暖化対策としてやっけて当然であろうし、子どもへの教育も重要であるが、どれだけ温室効果ガス削減に効果が上がっているか不明である。雨水浸透対策も水害防止対策としては重要であるが、温暖化対策としての効果は未知数である。行政は、何をどれだけやれば温室効果ガスがいくら削減できるのかということがわからなければ、予算や人をつけられないであろう。対策の効果を定量的に把握し、行政や県民に情報提供していくことが我々研究者に求められている役割と、常々考えているところである。



〈環境ネットワーク埼玉からのお知らせ〉

1. 埼玉県初の市民共同発電所を設置

環境ネットワーク埼玉会員 脇坂 純一
(埼玉お日さまクラブメンバー)

～与野ひなどり保育園発電所で点灯式～

私達が設置を進めてきた市民共同発電事業（埼玉お日さまクラブプロジェクト）は、2月27日（土）に与野ひなどり保育園で点灯式を行いました。保育園児、来賓、寄付者など約60人が集まってくれました。会員や推進員の皆さんを始め、多くの方々に支援していただき、大変ありがたく思っています。

私がこの取組を詳しく知ったのは、平成19年に大阪で開かれた市民共同発電のフォーラムでした。大変勉強になったの



保育園児による点灯の瞬間

ですが、残念ながら埼玉には実績がないことも再確認しました。それなら、自分たちで始めてみようと思われ、関心を持つメンバーが集まり活動をはじめました。



設置した太陽光パネル

以来、それなりの苦心はありましたが、メンバーの協力もあり、お陰様で1年半で思いが形になりました。

今後は、2号機、3号機の設置を目指すとともに、この取組を県内に広げていく予定です。

埼玉お日さまクラブでは、このような幼稚園等の設置場所を募集しています。太陽光市民共同発電所を設置してみたいと思われている方、こんなところがいいのではと思われる方、是非ご連絡ください。また、引き続き次号設置を目指して寄付を募集しております。是非ご協力ください。

(URL : <http://www.kannet-sai.org/ohisama/>)



寄付募集チラシ

2. 太陽光発電補助金受付業務について

21年度4月より開始している埼玉県の住宅用太陽光発電設備設置費補助金の申請受付が今年度も行われます。今回の埼玉県の補助金は、予算規模約8億7500万円、件数は6800件で、申請書の提出期間は平成22年4月1日（木）～平成22年12月28日（火）です。補助金単価は平成21年度に比べて1万円ずつ引き下げで、1kwあたり既存住宅で5万円、新築住宅で2万円です。当団体では、昨年度に引き続き埼玉県の申請受付窓口となります。詳細は、埼玉県環境部温暖化対策課のホームページの、「平

成22年度 住宅用太陽光発電設備設置補助制度について (<http://www.pref.saitama.lg.jp/page/pv22.html>)」をご覧ください。なお、国の補助金については、22年度からは都道府県窓口が廃止となり、太陽光発電協会（太陽光発電普及拡大センター、J-PEC）による直接対応となります。

3. 「いきものみつけ」自然観察会を開催

環境ネットワーク埼玉理事 榎本 建七

平成22年3月7日(日)に、「いきものみつけin見沼」と題し、加田屋たんぼ・見沼自然公園を中心に自然観察会を行いました。当日は、あいにくの雨の中でしたが、生きものに興味のある親子を中心に43名の参加がありました。はじめに講師から、映像を通じ田んぼの生きものや絶滅のおそれのある生きもの等、生物の多様性について子どもたちにも分かりやすく説明がありました。その後、田んぼに隣接する斜面林に生きものを探しに出かけました。途中、早春の生きものとしてミツマタ、サンシュユ、ウメ等の花々を見たり、中にはアオダイショウの死がいを見つけた子どももいました。林の中では、五感を働かせ耳をすますと、シジュ

ウカラやコゲラ、メジロ、ヒヨドリ等五種類以上の鳥のさえずりが聞き取れました。他にも、雑木林の中の朽ちた木からコクワガタの幼虫やハサミムシ、ムカデ、ゴミムシ等が越冬している様子を見たり、キノコをさわって臭いをかいだりしました。参加者は、フィールドの楽しさを十分に感じることもでき、時間が過ぎるのも忘れて大盛況に終わりました。



何がいるかな？林の中でいきものみつけ

いきものみつけとは？

環境省生物多様性センターが、平成20年7月から開始した市民参加のいきものしらべです。市民から、身近にいるいきもの情報をホームページ、郵便、FAX等を介して集めるものです。集まった情報は、リアルタイムにホームページの地図上に反映されます。

<URL : <http://www.mikke.go.jp/>>

当団体では、特に親子を対象にしたフィールドでの自然観察会を秋と早春に開催しました。

見つけたよ！

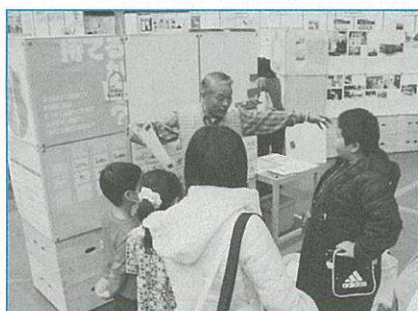
4. ストップ温暖化SAITAMAフェア&彩の国子どもエコクラブフェスティバルを開催

11月2日(月)、3日(火)の2日間にわたり、さいたまスーパーアリーナにてストップ温暖化SAITAMAフェア&彩の国子どもエコクラブフェスティバルを開催しました。ストップ温暖化SAITAMAフェアでは、展示ブースにて県内28の企業・環境団体の活動紹介やミニワークショップが行われました。全国地球温暖化防止活動

推進センターからの出張展示プログラムも行われ、埼玉県の地球温暖化防止活動推進員を中心に、パネルやエネルギーの重さが分かるかばん等の学習ツールを使って、温暖化について来場者に分かりやすく伝えました。



子どもエコクラブ事例発表の様子



参加者に熱心に語りかける推進員

推進センターからの出張展示プログラムも行われ、埼玉県の地球温暖化防止活動推進員を中心に、パネルやエネルギーの重さが分かるかばん

彩の国子どもエコクラブフェスティバルでは、「子どもエコクラブ」加盟の各団体の展示や、ステージでの事例発表があり、子どもたちから熱心な活動の様子がありました。イベントは、まなびピア(全国生涯学習フェスティバル)の一環として多くの方に来場いただき、改めて埼玉県内での温暖化対策の取組について考えるきっかけとなりました。

〈埼玉県地球温暖化防止活動推進センターからのお知らせ〉

1. ストップ温暖化「一村一品」大作戦

1 ストップ温暖化“冷やせ！彩の国”コンクールを開催しました

10月17日（土）大宮法科大学院大学講堂にて、県内13団体の取組と2つのアイデアの発表が行われました。

2 全国大会へ出場しました

2月13日（土）、14日（日）港区ニューピアホールにて、ストップ温暖化「一村一品」大作戦 全国大会2010が開催されました。全国の各都道府県から総計1,394件にのぼる応募があり、各都道府県の地区大会で選出された47団体が、この全国大会で自慢の取組みを発表しました。埼玉県代表は、『日本一暑い！熊谷市から「自動車部品のCO₂削減量



表彰式の様子

の見える化」を発信！」と題して株式会社ユーパーツの清水信夫社長を中心に発表しました。埼玉県代表は、優秀賞とともに審査員特別賞として「ウェブ投票賞」を受賞しました。

株式会社ユーパーツは、早稲田大学と連携し、自動車部

品を分解し素材別の重量を計り、部品毎のCO₂排出量をデータベース化するシステムを開発し、CO₂削減量の見える化を進める研究に取り組んでいます。

〈全国大会の結果〉

最優秀賞 鳥取県北栄町

「風が運ぶ贈り物～小さな町に新エネ・省エネを詰め込んで～」

金賞 東京都TOKYO油田2017（株式会社ユーズ）

「東京を油田に変える！

～TOKYO油田2017プロジェクト～」

銀賞 京都府長岡中央商店街振興組合

「商店街の“まちあかり”子どもたちの未来を照らせ」

銅賞 大阪府積水ハウス株式会社環境推進部

「新梅田シティ梅田スカイビル「新・里山」都会のまん中で自然体験」



埼玉県代表の取組ポスター

2. 推進員現地指導型研修に参加

11月4日（水）に、推進員現地指導型研修会に参加しました。見学場所は、栃木県酪農試験場のバイオガスプラントと那須野ヶ原土地改良区連合（水土里ネット）の小水力発電所です。参加者は推進員37名でした。バス内では、自己紹介や出前講座のノウハウ等の情報交換が行われ、天候にも恵まれ、車窓から秋景色を満喫し楽しく過ごすことができました。

バイオガスプラントでは、酪農試験場の木下さんにより糞尿回収からガス発生、発電までのプロセスを丁寧に解説いただき、活発な質疑が出されました。至近



バイオガスプラントを見学する参加者

の千本松牧場で昼食後、戸田調整池の小水力発電所では、水土里ネットの吉沢さんと郡司さんより用水路の遊休落差を利用し

た横軸フランシス型の発電機の国営電気事業について解説がありました。湖畔では野鳥などの自然観察も行いました。

参加者より小規模発電の施設も見学したいとの要望があり、用水路の百村第一・第二発電所を見学しました。「こ

の規模ならば、有志をつのれば埼玉で実現できそうだ」の意見も出るなど現地研修の成果を感じました。

私の立場としては、県の条例改正で大規模事業所には削減目標と削減義務を課せられる方向にある中で、未達分は調達しなければならないため、CO₂排出量が少ない自然エネルギーによる発電事業の動向を模索しているところです。バイオガスや小水力発電についても今後注目、調査したいと考えています。

会員・推進員：二宮 由紀



百村発電所（小水力発電）の様子

〈地域・会員活動報告〉

1. 地球温暖化防止地域セミナー in 所沢

3月20日（土）所沢市小手指公民館分館ホールにて、地球温暖化防止地域セミナーin所沢を開催しました。第1部は、(株)環境エネルギー総合研究所の大庭みゆき氏より「上手に使う・上手に省エネ！」と題して講演をいただきました。家庭での省エネに焦点を当て、ライフステージに合わせた、暮らしの中でできる具体的な省エネ術を分かりやすくお話いただきました。第2部では、



家庭の省エネ術について講演する大庭みゆき氏

埼玉県地球温暖化防止活動推進員の本橋亮一氏より、リアルタイムで電気使用量を表示し省エネ行動を促進す

る「省エネナビ」の活用事例の報告と、埼玉県より省エネナビを活用したCO₂削減事業についての説明があ



熱心に聞き入る参加者

りました。参加者からは、「ライフスタイルと省エネについて、具体的な数字で説明してもらえた点が良かった」、「CO₂削減のために家庭で出来ることが多くあることに気がつきました」等、実生活に役立つ話に満足できたとの声が多く寄せられました。

2. 団体正会員（企業）会員紹介

積水ハウス株式会社 埼玉支店

◆会社概要

代表者：支店長 三本敬久
(代表取締役会長兼CEO 和田勇)
所在地：埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5
ソニックシティビル27F
(本社：大阪市北区大淀中一丁目1番88号
梅田スカイビル タワーイースト)
設立：昭和35年8月1日
事業内容：
・建築工事の請負及び施工
・建築物の設計及び工事監理
・造園工事及び外構工事の設計、請負、施工及び監理並びに樹木の育成及び売買
・不動産の売買、交換及び賃借並びにこれらの仲介及び代理

社が費用の一部を負担)による特別販売価格により普及を積極的に推進します。

2. 生態系ネットワークの復活を積極的に推進します
 - ・『5本の樹』計画を積極的に推進・・・埼玉県一人一本植樹運動に参加、彩の国みどりの基金への寄付活動（1棟販売ごとに2000円寄付）
 - ・『木材調達ガイドライン』10の指針により違法伐採や自然生態系の喪失を防ぐとともに産出地域経済の自立にも配慮し、循環型の木材利用を積極的に推進します。
3. 資源循環の取組みを徹底的に推進します
 - ・生産・施工・アフターメンテナンス・リフォーム時のゼロエミッションを継続します。
 - ・積水ハウスの再生住宅『エバールーフ』を積極的に推進します。

当社の環境目標・目的

1. 生活時及び生産時のCO₂排出量削減を積極的に推進します
 - ・CO₂排出量削減に大きな効果がある太陽光発電システムについては、景観も考慮し瓦一体型の太陽電池を中心に自社のサステナブル推進補助金制度（*自

チャレンジ25宣言

私たち積水ハウス株式会社は、「チャレンジ25キャンペーン」に参加します。

「CO₂オフの暮らし」を実現する住宅の提案を通じて、地球温暖化防止に努めることを宣言します。

〈事務局からのお知らせ〉

1. 平成22年度「NPO法人環境ネットワーク埼玉」総会を開催します

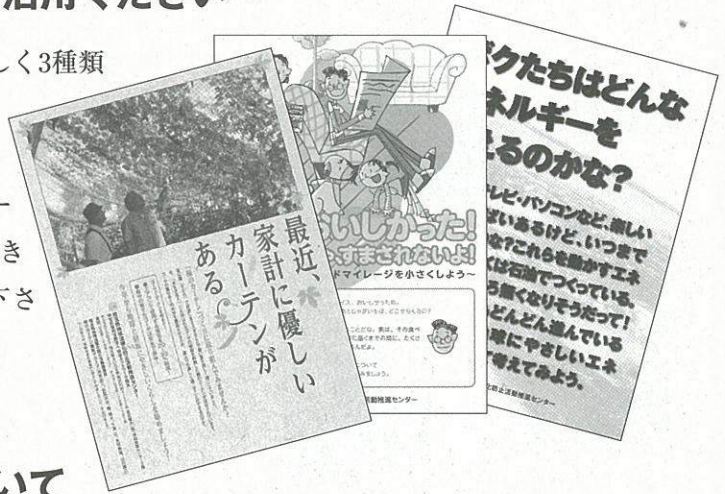
日時：平成22年6月19日（土）午後

場所：大宮ソニック市民ホール

※講演会も予定しています。詳細については別途ご連絡いたします。

2. 普及啓発ツールについて ～ぜひご活用ください～

今年度は、推進員の普及啓発ツール作成研修にて、新しく3種類の啓発用パンフレットを作成しました。テーマは、「緑のカーテン」「フードマイレージ」「自然エネルギー」の3種類です。ぜひご活用ください。他にパネルやリーフレットもリニューアルしています。DVD等も引き続き貸し出していますので、関心のある方はお問い合わせ下さい。



3. “センターだより”の原稿募集について

“センターだより”を半年ごとに発刊しています。当団体の行事や地域活動、会員団体・企業でのいろいろな活動について原稿を募集しています。是非ご協力ください。

4. NPO法人環境ネットワーク埼玉会員募集について

会員を募集しています。ぜひ一緒に活動しませんか？

申し込みに関する詳細につきましては事務局までご連絡ください。

正会員(1口あたり)

賛助会員

会費種別	個人会員	団体会員(非営利)	団体会員(企業)
年会費	5,000円	5,000円	50,000円

会費種別	個人会員	団体会員(非営利)	団体会員(企業)
年会費	2,000円	2,000円	10,000円

5. ホームページについて

当センターではホームページを開設しています。その中の「彩の国環境ネットワークプラザ」には、埼玉県内をはじめとするイベント情報や環境保全団体名簿、助成金、さいたま環境賞等の情報を掲載しています。県内の活動団体の交流スペースとなっていますので、情報、事例などは是非お寄せください。連絡先は、info@kannet-sai.org まで。



編集・発行

発行日 2010年3月31日

埼玉県地球温暖化防止活動推進センター／特定非営利活動法人環境ネットワーク埼玉

埼玉県さいたま市南区别所1-1-16

東京電力(株)浦和営業センター2F

TEL:048-749-1217 FAX:048-749-1218 <http://www.kannet-sai.org/>

閉館日：土・日、祝日

開館時間：9時～17時 情報やお知らせ等、是非お寄せください。